

港さざなみ会

<家族会例会>

5月13日の家族会総会は11時~グリーンズで行いました。18年度報告のあと、19年度の事業計画・予算が承認されました。なにより、ここ数年順番・抽選で選任された役員が、米根会長の「1年では福祉がわからない」との強い意志で1名の新任を除き留任していただきました。親・兄弟が力を合わせて、家族のために自立支援法に向かひましよう。

今回は6月15日保健福祉センター集検室です。港さざなみ家族会では新会員を募集中です。すぐ

講演会のお知らせ

平成19年度大家連精神保健福祉講座

日時 平成19年6月9日(土)13:30~16:00
 場所 エルおおさか(大阪府立労働センター709)
 地下鉄谷町線天満橋駅下車西300m.
 テーマ 精神科なんでも相談 精神科医塚塚亮二氏

大阪精神保健福祉士協会例会

日時 平成19年5月26日(土)14:00~17:00
 会場 大阪市社会福祉研修・情報センター
 テーマ 「障害者自立支援法」と障害者の地域生活
 精神障害者の地域移行をめぐる

講師 特定非営利活動法人 DPI 日本会議事務局長
 尾上 浩二(おのうえ こうじ)氏

本人・家族向けメンタルヘルスマガジン

『こころの元気+ (プラス)』2号
 ワークみなとにおいてあります。生き方のヒントが見つかるかも? 今月の特集は「私の元気回復と医療」連載「私の働く生活ストーリー」など

全家連解散のお知らせ

本年4月17日全家連(財団法人全国精神障害者家族会連合会)は理事会で破産を決議、その後裁判所に自己破産の申し立てをし、解散することになりました。これまでの経緯は月刊ぜんかれん特別号(2007/4/15発行 483)に「ぜんかれんの皆様へ」と題して詳しく記されています。この号をもって「月刊ぜんかれん」誌は廃刊となりました。

今後は全家連に代わる新しい全国組織が設立され、新しい月刊誌が発行されることと思われます。本紙では情報が入り次第お知らせします。

賛助会員募集

賛助会員にはピアみなと新聞を送付しています。
 一口 3000円(18年度分)
 通信欄に「賛助会費」と書き、送先を書いて下記に払込願います
 郵便振替口座 加入者名:ピアみなと
 口座番号:00900-0-330844
 購読のみ希望の方は、送料をご負担ください。1年分1000円を「新聞送料」と書いて上記口座にお送りください。

相談電話いろいろ

こころの悩み電話相談 大阪市こころの健康センター
 月~金曜日10:00~21:00(但し15~17時は中止)
6636 7867

こころの電話相談 大阪府こころの健康総合センター
6691 2813

ささえあい電話 セセラギクラブ
 水曜 13:30~15:30 土曜 13:30~14:30
6973 - 4121

わかちあい電話 ぼちぼちクラブ
 火曜・木曜 14:00から17:00
6973 - 1287

自立生活センターピア大阪(ピアカウンセリング)
 男性月曜・女性金曜 13~16時(12~13時休み)
6622 - 1180

やすらぎコール ふれあい地域生活支援センター(生野区)
 金曜 17:00~19:00
6754 - 3587

こころの電話救急相談 復帰協
24時間いつでも
6945 - 5000

家族が対応する電話相談 大家連
 月・金曜日10:00~午後3:00
6775 - 7859

障害者もしもしサポート 早川福祉会館
 月~土曜日 午後1~8時
4399 - 3363

ふらっとめいじ相談電話 地域生活支援センター
 月・火・木・金・土 9:00~17:00
6541 - 0006

保健福祉センターの電話番号
 3階西山さん 6576-9968 小橋さん 6576-9856
 2階 支援運営課 6576-9882

精神保健福祉

ボランティアグループしおり

5月16日(水)定例会 2:00~ ひまわりにて
 26日(土)誕生会 10:00~ ワークみなと
 6月20日(水)定例会 2:00~ ひまわりにて
 出欠は岩崎・岩井まで
 グリーンズ弁当作りは水曜日10:00集合です。
 天保山公園そうじは毎週水・金10:30~グリーンズ集合
 連絡先: Tel/Fax 6574-2930 グリーンズ
 Tel/Fax 6571-7511 ワークみなと

【こころ】1面に障害者就業・生活支援センターが400カ所になる記事に関連して、少し古いですが3/8のニュースを掲載しました。障害者の就労を進める障害者自立支援法の施工にともない、次々と施策が発表されます。法人が運営し10人以上が利用する小規模作業所と障害者デイサービス事業者は、大阪市地域活動支援センター事業(活動支援B型)に移行できますが、H23年までに移行しなければ補助金が約3割減(630万円)となるそうです。改造資金など移行のための奨励施策が次々と示されています。ボランティアな気持ちで「障害者の働く場」を運営してきた作業所が、民間の事業者と同様に行うのは無理がありませんか?(Yoshi)

ピアみなと新聞 61

特定非営利活動法人 障害者の福祉を進める会みなと

2007年5月号

発行者・印刷
 特定非営利活動法人
 障害者の福祉を進める会みなと
 通称名:ピアみなと
 〒552-0016
 大阪市港区三先1-16-9
 ワークみなと内
 TEL・FAX06-6571-7511
 郵便振替口座
 加入者名:ピアみなと
 口座番号:00900-0-330844
 URL
 http://www.peerminato.com

就職・生活一体で支援 本格化

障害者就業・生活支援センター400カ所に拡大へ

(07/5/22朝日新聞)
 厚生労働省は21日、障害者の就職と日常生活を合わせて支援する「障害者就業・生活支援センター」を11年度までの5年間で、現在の約3倍の全国400カ所に増やす方針を固めた。ハローワークや福祉事務所よりもきめ細かい支援ができる同センターの大幅な増設で、障害者の就職率アップを目指す。

同センターは、02年施行の改正障害者雇用促進法で創設された。就業支援を担うハローワークは障害者の働く能力の判断に限界がある一方、日常生活を支援している福祉事務所は就職支援のノウハウが乏しいため、同センターが両方を橋渡しすることになった。

同センターは現在、社会福祉法人などに業務を委託する形で、全国に135カ所設置。各センターに生活支援担当1人と就業支援担当2人を配置。約2万2000人の障害者が登録し、健康管理や住居の確保などの生活面で支援を受けている。

就業面ではハローワークでの求職活動に担当者が付き添うなどしており、05年度は約4300人の新規求職者の6割にあたる約2500人が一般企業に就職できた。

厚労省は、こうした成果を踏まえ、全国400カ所ある「福祉圏域」ごとに同センターを設置する方針だ。政府は障害者雇用の促進を「成長力底上げ戦略」のひとつに位置づけ、今年度中にまとめる障害者就労支援の5カ年計画に盛り込む考えだ。

障害者雇用率、パートも算入

厚労省、採用広げる狙い(07/3/8朝日新聞)

厚生労働省は7日、企業に義務づけている障害者の法定雇用率(従業員に占める障害者の割合=1.8%)について、パートとして働く障害者も加えて算定するよう制度を変える方針を固めた。雇用率が未達成の企業に対する納付金の支払い義務を中小企業に拡大することも検討する。障害者の雇用の場を広げることが狙いで、来年の通常国会での障害者雇用促進法改正案の提出を目指し、今夏から労働政策審議会でも本格的な議論を始める。

同法では現在、従業員56人以上の企業に法定雇用率の達成を義務づけている。ただ、雇用率の計算に算入できるのは原則として正社員。パートについては、特別に重度障害者と精神障害者に限り、算入してもいいことになっている。

今回の改正では、全体の「従業員」に週20時間以上30時間未満の短時間労働のパートも加え、障害の種類や重さにかかわらず、身体障害者や知的障害者も算定の対象とする方向だ。障害者雇用を促すのが目的だが、企業側が障害者を正社員ではなくパートとしてしか雇わなくなる懸念もあるため、パートの障害者を1人雇った場合、雇用率の計算上は「0.5人」とするなど、正社員雇用とは差をつけることで障害者雇用がパートに偏らないようにする。

派遣社員についても現在は派遣元企業の雇用率にしか算入できないが、派遣元と派遣先で0.5人分ずつ算入する仕組みなども検討。派遣先に障害者の受け入れを促す。

NPO総会に

みんな集まれ!

日時: 2007年6月3日(日)

13:00 会場設営(助っ人大歓迎)

13:30 開会

議事

14:15 休憩(会場設定など)

14:45 講演 金野誠一郎氏

「後見人制度についての話」

15:30 会員交流会(茶話会とカラオケ)

16:20 閉会

~17:00 会場撤収(みんなでお方づけ)

会場: 港区近隣センター

今年の議事は、18年度報告・19年度計画のほかに、港さざなみ家族会からの理事増員、正会員の年会費を賛助会員と同じ3000円(今年の作業所利用者は1000円に据え置き)にする案があります。また事業計画は法人と3施設、家族会ほかの行事・会議等も一覽にしてわかりやすくなりました。理事会では総会前の配布を目指して、議案書作成中です。お手元に届きましたらお目通しをお願いします。当日は忘れずにお持ちくださいね。

施設運営委員会 2007年5月25日(金)

16:00~ 港区保健福祉センター集検室です

港さざなみ家族会 6月15日(金)

13:00~ 港区保健福祉センター集検室です

家族教室 6月15日(金)

14:00~ 港区保健福祉センター集検室です

精神保健福祉ボランティアグループしおり 定例会

6月20日(水) 14:00~ひまわりです

火災報知機・誘導灯 設置しました！

ワークみなと

ワークみなとに火災報知機と誘導灯を設置しました。



4階建ての各階には、火災報知機（写真左）と、煙感知器（写真下）があります。4階の台所には熱感知器を取り付けました。



また、階段にはかわいい誘導灯（写真下）と停電になっても明るく照らす電池付きの蛍光灯を設置しました。



報知器や感知器の動作を監視しているのが2階にある火災受信機（写真上）です。



5月23日（水）のミーティングでは、希望者が火災報知機のボタンを押して音を確認しました。三階の火災報知機のボタンを押すと、各階の報知機がベルとブザーが大音響で鳴り響きました。押したボタンをリセットして2階の受信機で、復旧するまで鳴り続けます。休日に誤動作したらどうしよう・・・心配ごとがまた一つ！

みなと憩寮のベランダの野菜たち

今年初春憩寮のベランダには、ねぎ、レタス、菊菜が育っていました。その野菜たちは、鍋物の具や味噌汁の具になりサラダになりました。少し暑くなってきた今、ベランダには青い小さな実をつけたミニトマトにピーマン。黄色い小さな花をつけた、ゴーヤにきゅうり。それぞれのはっぴは、青々と元気に大きくなってきています。育てているのりこさんの心配は、「ゴーヤのツルをどこへ伸ばしていくのか」ということです。もちろんメンバーはそんなことお構いなしに、野菜を眺めながらタバコをふかしています。なんだかここだけゆっくり時間が流れているような気がします。

お誕生日会をしました

5月はAさんとOさんの誕生日でした。誕生日の人には本人が希望するプレゼントをします。大体決まっていますが、Tシャツであったりパンツ（下着）だったり・・・二人の希望はTシャツでした。今回のプレゼントはK君が、値段とそれぞれの好みを考えて、あちこち店を回って探して買って来てくれました。K君がいいと思ったものは値段が高かったり、若すぎたり、プレゼントは難しいものです。悩んで買って来てくれたK君と、ふっと疑問に思ったのですが、今まで買ったプレゼントは結構たくさんあると思うのですが、パンツ（下着）を別にして「着ているところを見た事がないなあ」ということです。皆さんは、いただいたプレゼントってすぐ使いますか？それともしばらく置いておきますか？

お弁当始めました。（グリーンズ）

かねてから計画し準備していた「お弁当販売」事業をいよいよスタートさせました。

今のところ（火）（水）のみ1日限定20食を、港区内の作業所や社協さんに販売しています。

今までどおり、お店の営業もやりながらのお弁当作りなのでなかなか大変ですが、ボランティアグループ・しおりさんにも助けをいただきながら、みんなでがんばっています。

今後はもう少し生産能力をあげて、より多くの方々に召し上がっていただきたいと思っています。

ただ、始めたばかりの新しい事業なので、まだまだ至らないところが多いと思います。皆様からの率直なご意見・ご感想をいただいたうえで、より良いものをご提供できるようがんばってまいりますので、暖かく見守ってやって下さい。（N）

グリーンズ特製「お弁当」

1個：500円（サラダ付き）

火・水曜日（1日限定20食）

ご注文は前日の3時まで
お願いします

1つから配達しています。

ご注文電話・FAX 番号

06-6574-2930



「友子の
つれづれ日記」

〇月〇日

とある夫婦がいました。ある時、奥さんが10日間用事で家を留守にするから、主人に花に水をやってくれるように頼んで出かけた。奥さんが家に帰ってみると、サボテンだけが枯れているのに気がつきました。どうしてサボテンだけが枯れたのか主人に聞きました。すると、「サボテンは砂漠の熱帯植物なので日本の冬は寒かろうと思えば毎日お湯をかけてあげたんだよ。」奥さんはため息をついて頼むんじゃないかと、と後悔しました。しかし時すでに遅し。トホホホ・・・。

河田友子

（つづく）

予 定

5月

13日	家族会総会	F
16水	スポーツジム体験（中央体育館）	G
22火	大正区相談員さん見学受入 ポートネット例会	WG P
25金	勉強会参加（新体系移行について） 運営委員会	WG WGM
26土	誕生会	W
31木	看護実習生受け入れ7人	W

6月

3日	NPO総会（近）	N
上旬	支援職員会総会	WG
15金	港さざなみ家族会 運営委員会	F WGM
20水	スポーツジム体験（中央体育館）	G
21木	ワークみなと休業	W
23土	誕生会	W
27水	育成園喫茶	W
29金	健康指導「感染症の話」	WGM

W：ワークみなと G：グリーンズ M：みなと憩寮

N：ピアみなと F：港さざなみ家族会

大支協：大阪市精神障害者支援職員連絡協議会

P：港区障害者施設連絡会（ポートネット）

会場（ほ）：港区保健福祉センター

（ひ）：ひまわり

（近）：近隣センター

（セ）：区民センター

（こ）：大阪市こころの健康センター

グループホーム みなと憩寮 体験・見学

いつでもご相談ください

問合せ：TEL06-6571-7511（世話人：山本みどり）

連載小説 第5回

『Aの老春 続ドリブル』

橋爪 栄

公園にいる子供たちと遊んでいたA・・・

そんな事も長くは続かなかった。小学生たちは中学生、高校生になってくると勉強とかクラブ活動とかで忙しくなってくる。Aはもう65才になるうとしていた。そして、Aはだんだん体が衰えてきた。だからといって絵画への情熱はたゆまなかった。もうそろそろ自分の絵画を発表してもいいのではないだろうか？そんな考えが脳裏にちらつき始めた。だが、Aの蓄えは画廊を借りられるほどはないと判断できた。そうだが、喫茶店に頼んでみよう。きつと飾ってもらえる。Aは動いた。近所の喫茶店へ足を運んだ。しかし、「こんな作品はうちでは飾ることが出来ません」という店が多かった。一軒だけ、「とてもいいですね！でも、うちで飾るのは無理です。こちも商売でやっているのだから」と言われる程度だった。Aはそんな時も決して落ち込まなかった。そうだが、区民センターの一室を一日だけ頼もう。そう考えたのは朝方の布団の中だった。Aは高校時代の友人H君に連絡した。幸いH君は在宅しており、気持ち良く相談に乗ってくれた。H君は、「そつだ、どうせ区民センターを借りるならば、高校時代のみんなを呼べないだろうか。」 Aは「それえやないの。それえやないの」と繰り返した。AとH君を中心に同窓会が計画されていった。